

平成10年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成10年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成10年12月1日(火)～2日(水)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者34名、委託関係者90名ほか、計136名の参集を得て、除草剤43薬剤(340

点)、生育調節剤5薬剤(30点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成10年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	〔対象雑草、試験のねらい〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. AC-414 水和剤 シロスタブファムロン 10% 〔日本サイアミット〕	コライバ (薬害)	作用性 新 規	植調研、 西日本G研 (2)	[薬害] 芝生育期 0.4、0.8、1.6 g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライバ [®] 、ノハ [®]) 一年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ～発生初期(3葉期まで). ・0.2～0.4g<200-250>. ・土壌または茎葉処理. 継) ・連用試験での確認. ・実証試験での確認.
	ノハ [®] (薬害)	作用性 新 規	植調研、 中国G連G研 (2)			
	コライバ	適用性 新 規 (9年度)	<中国G連G研> (0)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<200-250> 土壌処理 ②雑草発生初期 (広葉雑草3葉期まで) 0.2、0.3、0.4g<200-250> 茎葉処理 ; グラマックス水和剤 0.2g<200-250>		
	ノハ [®]	適用性 新 規 (9年度)	甲府国際CC②、 <中国G連G研> (1)			
	コライバ	適用性 継 続	東日本現地、 浜松サイト [®] 、 関西G研、 西日本G研、 佐賀CC (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200-250> ; グラマックス水和剤0.04g<200-250> ; イソアル水和剤0.3 g<200-250> ②雑草発生初期 (広葉雑草3葉期まで) 0.2、0.3、0.4 g<200-250> ; イソアル水和剤 0.3g<200-250> ; 土壌処理		
	ノハ [®]	適用性 継 続	東日本現地、 サ・竜ヶ崎、 浜松サイト [®] 、 関西G研、 西日本G研 (5)			
	コチカシ リ、ワジ 類 他3種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総園研 (2)	[緑化木に対する影響] ①茎葉処理 0.4 g<200-250> ②土壌処理 0.8 g<200-250> ; 無処理		

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
2. CG-148 顆粒水和剤 (シハコ77 [®] 顆粒水和剤)	コライシバ	適用性 継 続	東日本現地、 石川農総試、 南愛知CC、 西日本G研 (4)	[一年生広葉雑草及びカタクリ [®] サ 科、トドメグサ、カハミ、クローバー等] ①広葉雑草発生初期 (3葉期まで) 0.045、0.06、0.09 g<200> ; MCP液剤 0.5ml<200> ②広葉雑草生育期 (5葉程度まで) 0.045、0.06、0.09 g<200> ; MCP液剤 0.5ml<200> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草及び 一年生カタクリ [®] サ科雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期 ~生育期(5葉期まで). ・ 0.045~0.09g<200>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
シスル70 [®] 18.5%	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 南愛知CC、 西日本G研、 久山CC (4)			
[ノハ [®] ティス 77 [®] ロ]						
3. DAA-982 水和剤 既知化合物A 20% 既知化合物B 10%	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] ①イネ科雑草発生前 0.1、0.2、0.3 g<200-300> ; 7 [®] ロハ [®] ビ [®] イ水和剤 0.15g<200-300> ②イネ科雑草発生初期 0.1、0.2、0.3 g<200-300> 7 [®] ロハ [®] ビ [®] イ水和剤 0.15g<200-300> ; 土壌処理	- -	(・適用性試験に移行可.)
[大日本イン 化学工業]	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)			
4. DAH-981 水和剤 ジ [®] チオ [®] ル (製剤変更) 40%	ブルー グラス (効果・ 薬害)	作用性 新 規	札幌国際CC、 那須ナリー (2)	[一年生雑草; 剤型変更 (7 [®] チオ [®] ル条件)] イネ科雑草発生前 0.05、0.075、0.1 g<200-300> ; 土壌処理 ; デ [®] イクト [®] ラ [®] ン乳剤 0.1ml<200-300> 7 [®] ロハ [®] ビ [®] イ水和剤(イネ科) 0.1 g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.05~0.1g<200-300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 効果、薬害の年次変動につい て. ・ 実証試験での確認.
	ライグラス (効果・ 薬害)	作用性 新 規	那須ナリー (1)			
	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研 (1)	[一年生イネ雑草] 雑草発生前 0.1、0.2、0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; デ [®] イクト [®] ラ [®] ン乳剤 0.15ml <200-300>		
	ノシバ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研 (1)			
	コライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 那須ナリー、 佐野GC、新沼津CC、 兵庫農技、 今治CC (6)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.05、0.075、0.1 g<200-300> ; 土壌処理 ; デ [®] イクト [®] ラ [®] ン乳剤 0.1ml<200-300> 7 [®] ロハ [®] ビ [®] イ水和剤(イネ科) 0.1 g<200-300>		
[大日本イン 化学工業]	ノシバ	適用性 新 規	東日本現地、 江戸崎CC、 富士国際CC、 南長野GC、 東広野GC、 祁答院CC (6)			
5. DEH-115 ゾル剤 Florasulam 5%	ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌芙蓉CC、 廣済堂札幌CC (3)	[広葉雑草; 硫安添加] 雑草本葉5葉期 0.02、0.04、0.08mlに硫安を 添加(濃度後日連絡) <150> ; 茎葉処理 ; -	実・ 継	実) [(ケンタッキーブルーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育初期. ・ 0.04~0.08ml<150~200> ・ 茎葉処理. 継) ・ 実証試験での確認.
[タ [®] ウ [®] キカル日本]						

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
6. DEH-118 顆粒水和剤 イソキサベン 60% Florasulam 4% [タケウケミカル日本]	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[広葉雑草] 雑草発生初期 0.03、0.05、0.1、0.2 g <150-200(展着剤加用)> ; 土壌処理 ; -	継	継) ・ 効果、薬害の確認。 ・ 連用試験の継続。
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (1)			
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)	[広葉雑草] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生初期 ; 0.1 g<150-200(展着剤加用)> ; 土壌処理		
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
	コライシバ 適用性 新 規		泉パ [®] -タカノGC、 小杉CC、 美野里GC、 桑名CC、 大阪農技 (5)	[広葉雑草] 雑草発生初期 0.03、0.04、0.05 g <150-200(展着剤加用)> ; 土壌処理 ; イソバ [®] ル水和剤 0.3 g<200>		
7. DEH-94T01 ゾル剤 オキサリジン 40.4% [タケウケミカル日本]	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	那須ナセー、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.4、0.8、0.16 g<150-200> ; 土壌処理 ; -	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシバ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4ml<200>。 (g→mlに変更) ・ 土壌処理。 継) ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (薬害)	作用性 新 規	那須ナセー (1)			
	ハント グラス (薬害)	作用性 新 規	那須ナセー (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1、0.2、0.4 g<150-200> ; 土壌処理 ; - (薬害発生の可能性あり)		
	ブルー グラス (薬害)	作用性 新 規	那須ナセー (1)			
	コライシバ 適用性 継 続		ブラッサムカ [®] -テソ、 東日本現地、 ウシタ [®] FGC、 今治CC、 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<150-200> ; 土壌処理 ; DEH-94T01 DF 0.1g<150-200>		
8. DEH-94T01 顆粒水和剤 オキサリジン 85% [タケウケミカル日本]	コライシバ	実 証	東蔵王GC、 埼玉県民G、 琵琶湖CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1 g<200> ; 土壌処理 ; -	-	-

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
9. DH-80 粒 剤 (^ビ ・ ^リ ・ ^チ カルブ ⁷ 3.5%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 25 g ; 土壌処理 ; DH-80粒剤 (単用) 25 g	実 ・ 継	実) [(コライシバ、 ^ベ ・ ^{ント} グナス、 ^{ケン} ・ ^タ ・ ^ク ・ ^キ ・ ^{フル} グナス)一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 15~25g. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ コライシバ、 ^ベ ・ ^{ント} グナスにおける 倍量薬害試験での確認.
	^ベ ・ ^{ント} グナス (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	^{ブル} ・ ^グ ナス (連用)	作用性 継 続	植調研、 那須ナセー (2)			
	^{ブル} ・ ^グ ナス (薬害)	作用性 新 規	植調研、 那須ナセー (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 25、50、100 g ; 土壌処理 ; ^エ ・ ^イ ・ ^ゲ ・ ^ン 水和剤 1.5g<200-300>		
[大日本イネ 化学工業]						
10. DH-81 粒 剤 ^ジ ・ ^{イク} ・ ^ル 0.16%	コライシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 25 g ; 土壌処理 ; ^デ ・ ^イ ・ ^{クト} ・ ^{ラン} 乳剤 0.15ml <200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、 ^ノ ・ ^シ ・ ^バ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 15~25g. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ 倍量薬害試験での確認.
	^ノ ・ ^シ ・ ^バ (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)			
	コライシバ	適用性 継 続	東日本現地、 石川農総試、 ^ウ ・ ^ィ ・ ^ン ・ ^グ ・ ^{FGC} 、 ^総 ・ ^武 ・ ^{CC} 、 大阪農技 (5)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 15、20、25 g ; 土壌処理 ; ^デ ・ ^イ ・ ^{クト} ・ ^{ラン} 乳剤 0.15ml<200-300>		
	^ノ ・ ^シ ・ ^バ	適用性 継 続	植調岩手、 東日本現地、 富士国際CC、 甲府国際CC、 鳥取園試 (5)			
	コライシバ ・ ^ノ ・ ^シ ・ ^バ	実 証	埼玉県民G、 ^リ ・ ^ハ ・ ^ー ・ ^富 ・ ^士 ・ ^{CC} 、 門司CC (3)			
[大日本イネ 化学工業]						
11. DTH-85 水和剤 (^ク ・ ^リ ・ ^キ ・ ^ー ・ ^ト ・ ⁷) ^テ ・ ^ニ ・ ^ル ・ ^{クロ} ・ ^{ール} 50%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 中国G連G研 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 0.5 g<200-300> ; 土壌処理 ; ^デ ・ ^イ ・ ^{クト} ・ ^{ラン} 乳剤 0.15ml<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、 ^ノ ・ ^シ ・ ^バ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.3~0.5g<200~300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ 倍量薬害試験での確認.
	^ノ ・ ^シ ・ ^バ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)			
	^ノ ・ ^シ ・ ^バ	適用性 継 続	静岡岡冷地、 長野農事 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 0.3、0.4、0.5 g<200-300> ; 土壌処理 ; ^デ ・ ^イ ・ ^{クト} ・ ^{ラン} 乳剤 0.15ml<200-300>		
[トヤマ、大日本イネ 化学工業]						

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
12. ESH-01 (ベネフィクス 顆粒水和剤) ハズロシソ 58% [住友商事]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	那須ナード (1)	[一年生雑草] H9秋→H10春→H10秋→H11春 イネ科雑草発生前 0.7 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 ・ 草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.5~0.7g<200~300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ 0.7gを基準にした倍量薬害試 験での確認.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
	コライシバ ・ノシバ	実 証	サ・カントリークラブ・ジャ ハ・ン、 南愛知CC、 茜GC (3)	[一年生雑草] イネ科雑草発生前 0.5 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
13. FN-501 顆粒水和剤 (旧FDH-501) カルフェントラゾンエチル 50% [エフ・エム・シー、 日産化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	東日本現地、 東日本G研、 新沼津CC、 タイガースGC、 花屋敷GC、 中国G連G研 西日本G研 (7)	[一年生広葉雑草(特にハズソウ、 イタチ、エヒツリなど)] 雑草発生前初期~4葉期まで 0.01、0.015、0.02g<200-300> ; 茎葉処理 ; 7-ジラ780SG 0.2 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期、発生前初期 (3葉期まで). ・ 0.015~0.02g<100~200>. ・ 展着剤加用. ・ 茎葉処理. 継) ・ 有効草種の確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 東日本G研、 南長野CC、 タイガースGC、 花屋敷GC、 中国G連G研、 西日本G研 (7)			
14. FU-176 水和剤 (トウガラシ水和剤) 8-ヒドロキシキノリン銅 80% [フクホネショウ]	ベント グラス	実 証	小杉CC、 東日本G研、 大月CC (3)	[藻類、苔類] 藻類・苔類の発生前~発生前初期 に5~10日間隔の2回散布 1.0g <300>、 2.5g <500> ; 茎葉処理 ; 一任 (グリーン又はグリーンに準ずる、 できるだけ試験区を大きく)	実	実) [(ベントグラス)藻類] ・ 芝生育期. ・ 藻類発生前. ・ 10~14日間隔の2回処理. ・ 2.5g<200~300>. ・ 茎葉処理.
15. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシメフロ 60% (つづく)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)	[広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前初期 (広葉雑草3葉期まで) 0.06 g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任	実	実) [(コライシバ、ノシバ、ベントグラス、 ブルグラス)広葉雑草、ハズグ、ヒメ グ] ・ 芝生育期、雑草発生前初期(3 葉期まで). ・ 広葉雑草 0.03~0.06、 ハズグ・ヒメグ 0.045~0.075g、 <200~300> ・ 茎葉処理.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC (1)			
	ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	滝川畜試 (1)			
	ベント グラス	適用性 継 続 (9年度)	<小諸高原GC> (0)	[広葉雑草及びびワリクサ科] 雑草発生前初期 (広葉雑草3葉期まで) ; 0.03、0.045、0.06 g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任 (コライシバ、ノシバ; インパール水和剤 0.3gなど、ベントグラス、ケンタッキーブル グラス; フクリン水和剤0.3gなど)		

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
15. HSA-953 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ ・ノシハ	実 証	埼玉県民G、 琵琶湖CC (2)	[広葉雑草及びカタリガサ科] 雑草発生初期 (広葉雑草3葉期まで) 0.045 g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任		
[77°レボ ジェハソ、 大日本イソ 化学工業]	ヘント グラス	実 証	大月CC (1)			
	ブルー グラス	実 証	札幌国際CC (1)			
16. HW-T62 水和剤 (ヘントール水和剤)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前または発生初期 (雑草、2-3葉期) 1.5 g<150-200> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシハ)広葉雑 草、スギナ、ヒメクグ] ・ 芝生育期、雑草発生前～発生 初期(3葉期まで). ・ 1～2g<150>. ・ 土壌処理. 継) ・ ノシハにおける連用試験の継 続. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
DCBN 50%	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研 (1)			
[保土谷77°ロス]						
17. JTH-101 液剤 (キッソペリコ)	ブルー グラス	適用性 継 続	滝川畜試、 札幌後楽園CC、 札幌芙蓉CC、 札幌不二GC、 廣済堂札幌CC	[スズメノカタビラ] 芝生育期(芝刈り直後) 0.2ml<200>、0.4ml<400> ; 茎葉処理 ; -	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ヘントグラス、ケンタッキ ーブルーグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期(春～夏期). ・ スズメノカタビラ生育期. ・ 0.2<200>～0.4<400>ml <1,000倍液>. ・ 芝刈りやサツシガ等の後の茎葉 処理. 継) ・ ケンタッキーブルーグラスにおける実証 試験での確認.
ザントモス キッソペストリス (2×10 ¹¹ 個/ml)						
[日本たばこ産業]			(5)			
18. MBH-98 水和 オキザジアルキル 30% イソキサベン 30%	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 (保土谷、大月) 中国G研、 <西日本G研>	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.15g<200-300> ; 土壌処理 ; グラトラ7°水和剤 0.2 g<200-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
[丸和ハイテクミカル]			(3)			
19. MN-93① 水和剤 (7°ロハービー①) 水和剤)	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 佐野CC、 新沼津CC、 花屋敷GC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; 7°ロハービー水和剤 0.3 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2～0.4g<200～300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験での確認. ・ 倍量薬害試験での確認.
ジチオヒル 12% ハロスルフロメチル 10% (製剤変更)	ノシハ	適用性 継 続	小杉CC、 佐野CC、 南長野CC、 花屋敷GC、 宮崎CC (5)			
[日産化学工業]	コライシバ ・ノシハ	実 証	美野里GC、 ハハ-富士CC	[一年生雑草] 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
20. NC-319 顆粒水和剤 (イソフールDF) ハロスルフォンメチル 75% (製剤変更)	ノシハ	適用性 新 規 (8年度)	千葉大学	草] 5g<200-300> ; 土壌処理または茎葉処理 ; 一任 (1)	実 ・ 継	実) [(コライシハ、ノシハ、ベントグ ・ス、ケンタッキーブルーグラス)広葉雑草] ・ 芝生育初期～生育期、雑草発 生前～発生初期(3葉期まで). ・ 0.03～0.05g<200～300>. ・ 土壌または茎葉処理. 継) ・ 連用試験での確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ ベントグラス、ケンタッキーブルーグラスに おける実証試験での確認.
	コライシハ	適用性 継 続 (9年度)	<佐野GC②>	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05 g<200-300> ; 土壌処理 ②雑草生育初期 ; 0.03、0.04、0.05 g<200-300> ; 茎葉処理 ; イソフール水和剤(雑草発生前) 0.3 g<200-300>		
	ノシハ	適用性 継 続 (9年度)	<富士国際GC②>	(0)		
	ベント グ ラ ス	適用性 継 続	那須ナースー 大月CC、 <小諸高原GC> (2)	(0)		
	ベント グ ラ ス	適用性 新 規 (9年度)	<総武CC①>、 <小諸高原GC> (0)	(0)		
	ブルー グ ラ ス	適用性 継 続	札幌芙蓉CC、 札幌不二GC、 廣済堂札幌CC (3)	(3)		
	ブルー グ ラ ス	適用性 新 規 (9年度)	<札幌芙蓉CC①>、 <小樽CC①>、 <廣済堂札幌CC①> <盛岡南CC①> (0)	(0)		
[日産化学工業]	コライシハ ・ノシハ	実 証	<名取GC>、 桑名CC (1)	[広葉雑草] 雑草発生前又は生育初期 0.04 g<200-300> ; 土壌処理または茎葉処理 ; 一任		
21. NC-341 水和剤 (ブラスコンM) MCPイソフールミン塩 40%	ブルーグ ラス・ベ ニアルイ グ ラ ス ト ールフェス ク	実 証	札幌国際CC、 札幌後楽園CC、 札幌芙蓉CC、 グリーソライバー	[広葉雑草] 雑草生育期 1.0 g<200> ; 茎葉処理 ; 一任 (4)	実 ・ 継	実) [(コライシハ、ノシハ、ケンタッキーブル ・グ ラ ス、ベニアルイグ ラ ス、トルフェス ク) 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期. ・ コライシハ、ノシハ 1～1.5ml<200>、 ケンタッキーブルーグ ラ ス、 ベニアルイグ ラ ス、トルフェス ク 0.75～1.5ml<200>. ・ 茎葉処理. 継) ・ ケンタッキーブルーグ ラ ス、ベニアルイグ ラ ス、トルフェスクにおける効果、薬害 の年次変動について. ・ 倍量薬害試験での確認.
[日産化学工業]						
22. NC-359 粒剤 (ブラストプラス) ジチオビル 0.13% (N:P:K=8:8:8)	コライシハ (連用)	作用性 継 続	植調研、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 60 g ; 土壌処理 ; 一任 (2)	実 ・ 継	実) [(コライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 30～60g. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認.
[日産化学工業]	ノシハ (連用)	作用性 継 続	植調研、 西日本G研			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
23. NC-380 顆粒水和剤 トリアジナ 30% ハロメフロメチル 30%	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	継	継) ・効果、薬害の確認。
[出光興産、 日産化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	<名取GC>、 東日本現地、 小杉CC、 ウヰンガ [®] FGC、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075、0.1、0.15 g<200-300> ; 土壌処理 ; 行 [®] ト [®] フ [®] フ [®] 剤 0.1 g<200-300>		
	ノシハ [®]	適用性 新 規				
24. NCH-94 顆粒水和剤 (サジ [®] ノ [®] DF) カフエノストロール 50% ハロメフロメチル 10%	コライシバ ・ノシハ [®]	実 証	<名取GC>、 ア [®] ラ [®] サ [®] カ [®] -チ [®] ン、 泉 [®] バ [®] -カ [®] ウ [®] GC、 リ [®] バ [®] -富 [®] 士 [®] CC、 南 [®] 長 [®] 野 [®] GC、 門 [®] 司 [®] GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前。 ・0.2~0.4g<200~300>。 ・土壌処理。 継) ・効果、薬害の年次変動につい て。 ・連用試験での確認。 ・倍量薬害試験での確認。
25. NH-502 水和剤 (ト [®] レ [®] エ [®] ス水和剤) イ [®] タ [®] ノ [®] フ [®] ン 50%	コライシバ ・ノシハ [®]	実 証	埼玉県民G、 リ [®] バ [®] -富 [®] 士 [®] CC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前。 ・0.2~0.3g<200~300>。 ・土壌処理。
26. RH-315N 水和剤 (ク [®] サ [®] コ [®] ソ [®] 水和剤) ハロメフロメチル 10% ア [®] ロ [®] ビ [®] サ [®] ミ [®] ト [®] 40%	コライシバ (連用)	作用性 新 規	那須ナ [®] セ [®] リ [®] 、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前。 ・0.2~0.3g<200-300>。 ・土壌処理。 継) ・連用試験の継続。 ・倍量薬害試験での確認。
	ノシハ [®] (連用)	作用性 新 規	那須ナ [®] セ [®] リ [®] 、 東日本G研 (2)			
	コライシバ ・ノシハ [®]	実 証	小杉CC、 今治CC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
27. RYH-106 ア [®] ロ [®] フ [®] ル剤 オ [®] キ [®] サ [®] ジ [®] ア [®] ル [®] キ [®] ル 34.5%	ノシハ [®] (連用)	作用性 継 続	植調研、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	(前回判定どおり) 実) [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・芝生育期。 ・雑草発生前。 ・0.1~0.2ml<200-300>。 ・土壌処理。 継) ・ノシハ [®] での連用試験の継続。 ・コライシバ [®] における連用試験で の確認。

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
28. RYH-121 液剤 mecoprop-isomer 52%	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 那須ナセリー、 総武CC、南愛知CC、 宮崎CC (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.25、0.5ml<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 1.0ml<200>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、 ケンタッキーブルーグラス)広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期。 ・ 0.25~0.5ml<200>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 実証試験での確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。
[ローヌ・ブーラン 油化7カロ]	ノシバ	適用性 継 続	小杉CC、佐野CC、 総武CC、南愛知CC、 宮崎CC (5)			
	ブルー グラス	適用性 新 規	札幌芙蓉CC、 札幌不二ロイヤル、 廣済堂札幌CC 泉ハークランGC、 那須ナセリー (5)			
29. SB-325 7077 [®] ル剤 (ハースト7077 [®] ル) TPN 53%	ベント グラス	適用性 継 続 (9年度)	<小諸高原GC> (0)	[藻、苔類] 藻、苔類の発生前~発生始期 ; 1.0、1.54ml<1000> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(コライシバ、ベントグラス)藻類] ・ 芝生育期、藻類発生前。 ・ 1.0~1.54ml<1,000>。 ・ 土壌処理。 ・ 反復処理の場合は20日間 隔。
	コライシバ ・ノシバ	実 証	小杉CC、 新沼津CC、 浜松サイト、 関西G研、 東広野GC (5)	[藻、苔類] 藻、苔類の発生前~発生始期 1.0~1.54ml<1000>の1濃度 ; 土壌処理 ; 一任		
[エス・ディー・エス ハイオック]	ベント グラス	実 証	青森CC、小杉CC、 大月CC、 <小諸高原GC>、 祁答院GC (4)			
30. SL-160 粒剤 フラスル707 0.1%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	関西G研 (1)	[一年生雑草、ハマスグ、ヒメグ] H9秋→H10春→H10秋→H11春 雑草発生前 8 g ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草、ヒメグ] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 一年生雑草 4~6g、 ヒメグ 5~8g ・ 土壌処理。 継) ・ ハマスグに対する効果の確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 倍量薬害試験での確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研 (1)			
	コライシバ	適用性 継 続	東日本現地、 宇都宮大学 (2)	[ハマスグ] 雑草発生前 5、6、8 g ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 宇都宮大学 (2)			
	コライシバ	適用性 継 続	桑名CC、 タイガースGC (2)	[ヒメグ] 雑草発生前 5、6、8 g ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシバ	適用性 継 続	南愛知CC、 タイガースGC (2)			
[石原産業]	コライシバ ・ノシバ	実 証	浜松サイト、 花屋敷GC、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 5 g ; 土壌処理 ; 一任		
31. SW-981 水和剤 エトキシスル707 8% カフエントロール 50% (つづく)	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	那須ナセリー (1)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4、1.6 g<200-300> ; 土壌処理 ; プローハービィー水和剤 0.2 g<200-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認。
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	那須ナセリー (1)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/㎡ ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容	
31. SW-981 水和剤 (つづき)	コライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 美野里GC、 ウイングFGC、 奥武蔵CC、 関西G研 (5)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; プロパピクイー水和剤 0.2 g<200-300>			
[三共]	シバ	適用性 新 規	東日本現地、 美野里GC、 ウイングFGC、 奥武蔵CC、 関西G研 (5)				
32. TG-02 トリフルリン ベスロジン	0.67% 1.33%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 20g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ、シバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 10～20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ コライシバにおける連用試験の 継続。 ・ シバにおける連用試験での確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
[東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、植調研、 総武CC、大阪農技、 久山CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 10、15、20g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤 16g			
	シバ	適用性 継 続	植調岩手、 那須ナゼー、総武CC、 甲府国際CC、 久山CC (5)				
33. TG-03 オキサリン ベスロジン	1.0% 1.0%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 20g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ、シバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 10～20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ コライシバにおける連用試験の 継続。 ・ シバにおける連用試験での確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
[東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ	適用性 継 続	ブラッサムガーデン、 小杉CC、新沼津CC、 花屋敷GC、 <今治CC> (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 10、15、20g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤 16g			
	シバ	適用性 継 続	植調岩手、 グリーンフレイヤー、 江戸崎CC、 那須ナゼー、 タカースGC (5)				
34. TH-913H4 フロアフル剤 イマズスルフロ (製剤変更)	40%	シバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	植調研 (1)	[一年生広葉雑草 及びハマスグ、ヒメグ] 雑草生育初期 0.1、0.2、0.4、0.8ml<200-300> ; 茎葉処理 ; シバ・タイフロアフル剤 0.464、3.712ml<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、シバ)一年生広 葉雑草、ヒメグ] ・ 芝生育期、雑草発生前期。 ・ 0.1～0.2ml<200-300>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 効果、薬害の年次変動につい て。 ・ 連用試験での確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
[武田薬品工業]	コライシバ	適用性 新 規	東蔵王GC、 東日本現地、 那須ナゼー、 総武CC、 タカースGC (5)	[一年生広葉雑草 及びハマスグ、ヒメグ] 雑草生育初期 0.1、0.15、0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; シバ・タイフロアフル剤 0.8ml<200-300>			
	シバ	適用性 新 規	東蔵王GC、 総武CC、 南長野GC、 桑名CC、 鳥取園試 (5)				

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	[対象雑草、試験のねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/㎡ ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
35. YH-552 水和剤 (アブロン [®] -水和剤) ビフェノキス 40% ピリフチカルブ 20% 〔八州化学工業〕	コライシバ ノシバ [®]	実 証 実 証	奥武蔵CC (1) 奥武蔵CC (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 1.0 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシバ [®] 、ベントグラー ス)一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.6～1.0g<200～300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ ベントグラーズにおける実証試験で の確認.
36. YH-592 水和剤 カネストロール 60% シスルフロン 5% 〔八州化学工業〕	コライシバ (連用) ノシバ [®] (連用) コライシバ ノシバ [®] コナカシ ワ、ツツジ 類 3 種	作用性 新 規 作用性 新 規 適用性 新 規 適用性 新 規 緑化木	西日本G研 (1) 植調研 (1) 泉ハークワンGC、 東日本現地、 奥武蔵CC、 琵琶湖CC、 久山CC、 佐賀CC (6) 泉ハークワンGC、 奥武蔵CC、 琵琶湖CC、 東広野GC、門司GC、 祁答院GC (6) 福岡農総園研 (1)	[一年生雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.25、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイファ [®] プロア [®] 剤 0.4 g<200-300> [緑化木に対する影響] ①茎葉処理 0.3 g<200-300> ②土壌処理 0.6 g<200-300> ; 無処理	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシバ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.2～0.3g<200-300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 効果、薬害の年次変動につい て. ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
37. シナジソン プロア [®] 剤 シナジソン 42% 〔日本サイファミッド [®] 〕	コライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	[一年生雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10 春雑草発生前 0.2ml<200-250> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシバ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.1～0.2ml<200～250>. ・ 土壌処理. 継) ・ ノシバ [®] における連用試験での確 認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
38. ナ [®] ロハ [®] ミド [®] 顆粒水和剤 ナ [®] ロハ [®] ミド [®] (製剤変更) (つづく)	コライシバ (連用) ノシバ [®] (連用) コライシバ ノシバ [®]	作用性 継 続 作用性 継 続 適用性 継 続 適用性 継 続	植調研、 中国G連G研 (2) 植調研、 中国G連G研 (2) 小杉CC、佐野GC、 タイカ [®] -スGC、 宮崎CC (4) 小杉CC、佐野GC、 タイカ [®] -スGC、 宮崎CC (4)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10 秋雑草発生前 0.6 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 [一年生雑草] 雑草発生前 0.3、0.4、0.6 g<200-300> ; 土壌処理 ; ナ [®] ロハ [®] ミド [®] 水和剤 0.6 g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ [®] 、ノシバ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.4～0.6g<200～300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 低薬量での効果の年次変動に ついて. ・ 連用試験の継続.

- 34 -

B. 平成9年度秋冬作分 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < >=中間または 試験実施中(数)	〔対象雑草、試験のねらい〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. CG-148 顆粒水和剤 (シハコップ 顆粒水和剤) シスルフロン 18.5% 〔ノバルティス フクオ〕	コライシハ	適用性 継 続	名取GC (1)	〔一年生広葉雑草及びカタリガサ 科、シハコップ、カハミ、カハミ等〕 ①広葉雑草生育初期(3葉期迄) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200> ②広葉雑草生育期(5葉期程度) ; 0.045、0.06、0.09g <200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>	実 ・ 継	(前回判定どおり) ・実)〔コライシハ、ノシハ〕 一年生雑草 ・芝生育期(秋)、雑草発生前 ~生育初期(3葉期まで). ・0.045~0.09g<200>. ・土壌又は茎葉処理. 継) ・雑草生育期の効果確認. ・連用試験での確認. ・実証試験での確認.
2. NC-319 顆粒水和剤 (イソフールDF) ハロスロンメチル 75% 〔日産化学工業〕	ベント グラス	適用性 新 規	青森CC (1)	〔一年生雑草広葉雑草〕 ①雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理 ; イソフール水和剤 0.3 g<200-300> ②雑草発生初期 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理 ; イソフール水和剤 0.3 g<200-300>	実 ・ 継	(前回判定どおり) ・実)〔コライシハ、ノシハ、ベントグラス、 フルーグラス〕広葉雑草 ・芝生育期(秋)、 雑草発生前 ~発生初期(3葉期まで). ・0.03~0.05g<200~300>. ・茎葉処理. 継) ・実証試験での確認.

この草はなんだろう? 手軽に調べたい。

三二雑草図鑑

—— 耕地雑草ハンドブック ——

A5判 本体2,200円(税別)

耕地には主要なものだけで150種を超える雑草が生えてきます。これら雑草の防除の第一歩は草を知ることです。本書は、農耕地や樹園地などによく見られる雑草397種を写真とともに紹介した、草を知るための野帳版雑草図鑑です。

原色図鑑 芽ばえとたね

浅野 貞夫/著

A4判 本体9,800円(税別)

芽ばえの姿はどうなんだろう。本書は、植物の芽ばえのようすを克明に表した精密図版と、種・成植物の写真による植物の一生図鑑です。成植物のみの図鑑と異なり、芽ばえのようすから紹介しているため、植生などの調査にたいへん役に立つとの声が寄せられています。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

C. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	〔試験のねらい〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. AS-1 液剤 5-ニトロフエノールナトリウム 0.1% オキシニトロフエノールナトリウム 0.2% パーラニトロフエノールナトリウム 0.3% 〔旭化学工業〕	コライシバ	適用性 継 続 (9年度)	小杉CC (1)	〔張り芝後の活着促進〕 張り芝直後、7日、14日後の 3回 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	継	継) ・効果の確認。
	ベント グラス	適用性 新 規	奥武蔵CC、 総武CC、 祁答院GC (3)	〔更新後のターフ回復促進〕 更新直後、更新後7日 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>		
	ベント グラス	適用性 継 続	東日本現地、 那須ナセー、 奥武蔵CC、 総武CC、 祁答院GC (5)	〔夏場の活力維持と回復〕 7/下、8/上、8/中、8/下、 9/上の5回 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>		
2. CG-186 マイクロエマルジョン剤 トリネキサックエチル 12% (製剤変更) 〔ノバルティス アグロ〕	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、江戸崎CC、 奥武蔵CC、大月CC、 東広野GC (5)	〔生育抑制による刈込み軽減〕 芝生育期(5/中～6/上) 0.05、0.08、0.1ml<150-250> ; 茎葉処理 ; 7リテWSB水和剤 0.04ml<150-250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)生育抑制 効果による刈込み軽減] ・生育期。 ・0.05～0.1ml<150-250>。 ・茎葉処理。 継) ・効果、薬害の年次変動について。
	ノシバ	適用性 新 規	小杉CC、江戸崎CC、 奥武蔵CC、 甲府国際CC、 東広野GC (5)			
3. CG-186 水和剤 (7リテWSB水和剤) トリネキサックエチル 25% 〔ノバルティス アグロ〕	ベント グラス	適用性 新 規	青森CC、 江戸崎CC、 大月CC、 関西G研、 祁答院GC (5)	〔生育抑制による刈込み軽減〕 芝生育最盛期 0.04、0.06、0.08ml<150-250> ; 茎葉処理 ; 無処理	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキーフル ーグラス、パーミューターグラス)生育抑制 効果による刈込み軽減] ・生育期。 ・コライシバ、ノシバ 0.02～0.04g<150>の 1～2回処理、 ケンタッキーフルーグラス 0.04～0.06g<150>、 パーミューターグラス 0.03～0.06g<150>、 ・茎葉処理。 継) ・ケンタッキーフルーグラス、パーミューター グラスに対する体系処理の効果、薬 害の確認。
	パーミュー ター グラス	適用性 継 続	桑名CC、 琵琶湖CC、 祁答院GC (3)	〔生育抑制による刈込み軽減〕 芝生育期(5月末～6月) ; 0.03、0.04、0.06g<150> ; 無処理		
4. NOK-1 液剤 E. cloacae No.11-5 株培養濾液 〔NOK〕	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC (1)	〔張り芝後の活着促進〕 張り芝直後、7日後の2回 ; 500、200、100倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	継	(前回判定どおり) 継) ・効果、薬害の確認。
5. STC4771+GA ₃ 液剤 GA ₃ 4.0% STC4771 0.2% 〔タマ生化学、トメシ〕	ノシバ	適用性 新 規	植調研、 茨城農総園研 (2)	〔養成芝の剥き取り後の 回復促進〕 芝萌芽初期 ①STC 1.0ppm+GA 20ppm ② 0.5 + 10 ③ 0.25 + 5 <100> ; 茎葉処理 ; 無処理	継	継) ・効果の確認。